

21世紀のライフスタイルを考える・木津耕一氏講演

記録文責 千葉 高橋 耳聡

平成維新東京と平成維新神奈川が共催で、9月29日麻布区民センターで25名の参加者、講師に木津耕一氏を迎えて行われた。木津氏は福島県只見町の農村出身で、学生時代の東京生活の経験で都会と田舎の矛盾を逆手にとり、現システムの中で最大限生活の質の向上を目指したアイデアを披露してくれた。

【講演要旨】

●農家では消費者の声が届かないため、味が落ちても見た目のいいものに品種改良し、木材に至まで規格品に合わせるように努力してきたが都会に来てみると、逆に規格を外れるが味のいい野菜や趣のある木材が価値のあるものとして認められていることを知って驚いた。しかし、流通業者の意向も無視は出来ない。

●森林は国有林と私有林に分かれるが、戊申戦争後幕府側の領地は国有となり、どんどん伐採されて杉の木が植えられているが、西側は私有林として残り雑木林も多く、国有林の売却益で林道まで整備されている。

●日本の農政は零細農家を統合により大規模経営として、農業の立直しを計るために税金を投入し、また農業人口は減少しているとしているが、これは統計の取り方の嘘である。零細農家は耕地を売らずに農家人口も減っていない。大きな借金を抱えた大規模農家の方が、経営に失敗して耕地を切り売りしている。農地は安く、少々売っても大した利益とならない。

●農政への無駄な税金は耕地整理に、養蚕を代表とする蚕糸事業に、米の検査官の人件費で消えている。米価審議会で活発に運動しているのは、暇な農協職員のみで、農民は忙しくて東京には出て来れない。

●田舎の生活も昔と比べてかなり豊になっている。農業収入以外の副業が主体となっており子供に野良仕事を手伝わせる親は最近いなくなり、農村でも都会の子供のようなヒョロヒョロとしたのが増えている。また最近の親は不衛生×危険ということで山や川で子供を遊ばせない。遊んでいるのは都会から旅行できた子供だけである。

●昔では考えられなかった肉や魚を毎日の食卓で食べられるようになり、自家製酒（違法）から合法的な酒に変わっているのに、今でも酒宴では将来の後継者問題と過疎化のため息をついている。

●過疎の村でも公民館等が人口比より大きい立派なものが国及び県の補助金で建てられている。現在は2割負担で2,500万円程の建物が作られているが、昔はその2割も建築業者が出していたので、県と国に陳情すれば良かった。本当は地方自治体だけで建てるべきだ。（箱もの建設でも温泉の経営はうまく行っている。）

●最近の川の護岸工事はコンクリートで固める方式

から自然に優しい石詰みに変わっている。なんと既にコンクリート整備されたものを再度石詰みに作り替える工事まで始めている。自然を大事にする所と災害対策上重要な所と明確に分けて工事すべきである。

【都会と山村の交流】

山林リゾート会社「たもかく」の社長として以下の事業を展開：

●古本を定価の1割で買い上げ代金の代わりに山林の所有権を譲渡する「緑の会員」を募集中。

(TEL 0241-82-2944)

●田舎の廃屋を探して都会の人に売るべく広告を出す。（ダイヤモンド社で掲載*大きな反響

0241-82-2946)

●土地家で800万円、リフォームで2,000万円ぐらい掛かる。

●山の中の荒れ地を切り開き1,000万円ぐらいでセカンドハウスを建てて分譲する。（0241-82-2945）

現在「たもかく」は木工3,000万、建築1億、不動産5,000万の売り上げで都会から資金も集めている、500人で2億8千万円、住宅用に7万坪の土地を保有している。どこの田舎でもパンフレットを作り都会人に来てくれと言っているが、どうしても来たいなら来て良いサービスはしない、1回しか来ない人は入れない位の思いはある（地元の人には聞かせられない）。

【質疑応答】

●日本の水道事業はうまく行っていない、川もまだまだきれいになるはずである。

○日本の政治をどうすれば良いか？

●システムをいじっても人が変わらなければ何も変わらない。（住専処理もシステムを使っていない）女性が3分の1政治に参加すれば良い。（地方議会、審議会、委員会）談合政治のレベルが低いから悪い。○どうしたら女性の登用を増やせるのか？

●他人任せでは駄目だ。自社は男女同権同数を目指している。システム、法律、リーダー（他人）に頼っては自分たちに実力が着かない。

○ウルグアイラウンド6兆円はどのように使われていますか？

●ほとんどが耕地整理のために使われていて、農協、流通のみが潤って、農家には1円も来ない。

○食品メーカーが農業をすることはどう思いますか？また、私たち素人が農業をすることどうですか？

●サントリー、小岩井が自営でやっているが、大規模にやっては農業はうまく行かない、税金浸けになるだけである。一般サラリーマンに開放するのが先である。商社等の大資本参加は地主時代に戻ってしまう。

（生活者主権の千葉・会報 B.T. 11月号より転載）